

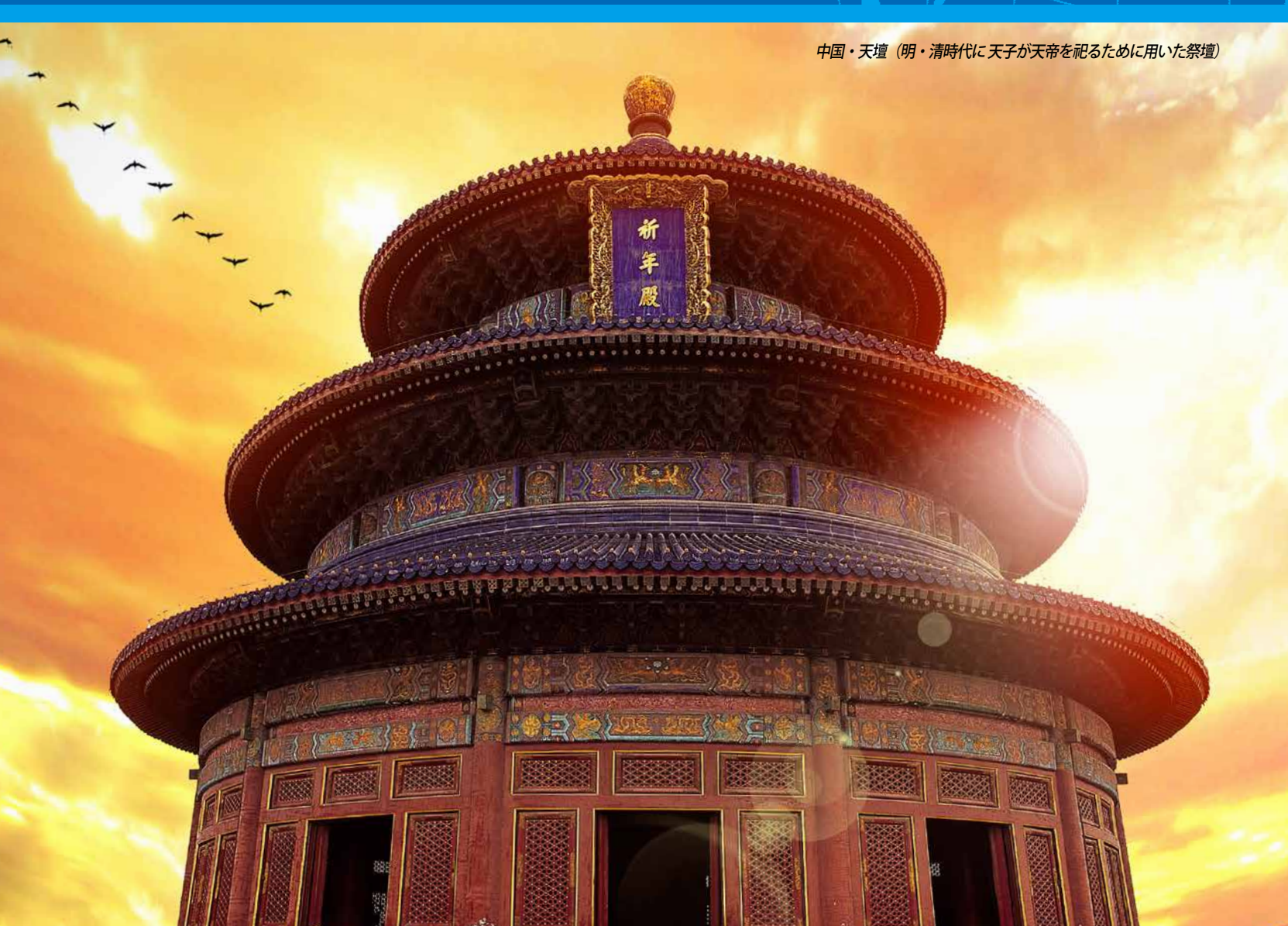
NEAR News

一つの北東アジア、一つの共同体 NEAR | One Northeast Asia Region, One Community NEAR

2016. 5-6

Vol. 68

中国・天壇（明・清時代に天子が天帝を祀るために用いた祭壇）



今月の動静

NEAR活動 | 事務局ニュース | 会員自治体の動静 | 会員自治体の行事日程

企画取材

2016 NEAR実務者ワークショップが開催

北東アジアの結婚文化(1) - 中国、日本、韓国



北東アジア地域自治体連合
The Association of Northeast Asia
Regional Governments

NEAR News

「NEAR News」は会員自治体のニュースを伝え、情報を共有するNEARの公式なメッセンジャーとして創刊されました。NEARの活動状況、会員自治体動静、関連国際動向、各種の寄稿、お知らせなどの内容で定期的に発刊しており、会員自治体及び関連機関に無料配布し、NEARホームページにも掲載されます。「NEAR News」は会員自治体がともに作っていくニュースレターであり、NEARと北東アジア地域に関心を持つ方はどなたでも参加できます。

「NEAR News」に掲載を希望する原稿や斬新なアイデアをお持ちの方はNEAR事務局までご連絡いただくようお願いします。



Vol. 68





北東アジア地域自治体連合とは

北東アジア6カ国(日・中・韓・蒙・露・北朝鮮)80の広域自治体(73会員自治体、7オブザーバー自治体)で構成される北東アジア地域における代表的な地方外交協力体であると同時に、国際的な機構でもあります。

北東アジアの共同繁栄を基本理念とする連合憲章を採択し、経済・人文、教育文化交流、環境、防災、国境地区協力、科学技術、観光、海洋漁業、鉱物資源開発・調整、エネルギー・気候変動、女性・児童、生命・医療産業、農業などの様々な分野で幅広い交流・協力プログラムを展開してまいりました。

欧州最大の地方政府協力機構であるAER(欧州地域会議)、R-20(気候行動地域)など国際的な機構との交流を活性化し、パートナーシップの締結、共同事業の推進など、北東アジアを越えて、世界へと繋がる国際協力ネットワーク構築の先頭に立っています。

NEARの門戸は開かれています。

北東アジア地域に位置し、連合の設立趣旨に賛同する広域自治体は、連合の総会の承認を経て参加することができます。



北東アジア地域自治体連合
The Association of Northeast Asia
Regional Governments

NEAR活動

防災分科委員会の開催（日本・兵庫県）

3月7日から10日まで、兵庫県神戸市で第14回NEAR防災分科委員会が開催され、3か国17自治体（中国4、韓国6、モンゴル7）から32名が参加した。

同分科委員会はNEARの代表的な分科委員会として2002年から毎年開催されており、会員自治体の防災担当者の防災対応能力を強化し、北東アジア地域の災害、災害による被害を減らすことを目的としている。

同分科委員会のコーディネート自治体である兵庫県は、1995年の阪神・淡路大震災を通じて得た教訓とその後蓄積した経験を基に多様な防災対策を整え、施設を整備してきた。同分科委員会では防災関連国際機構による講演と意見交換会、現地防災施設の視察を実施し、兵庫県の防災関連経験を共有した。

NEAR事務局からは李相基事務次長をはじめとする訪問団が参加し、コーディネート自治体の行事進行を支援するとともに、参加した各自治体の防災担当者を激励した。

事務局ニュース

日本会員自治体との意見交換を実施(3月10日)

3月10日、兵庫県神戸市で行われた防災分科委員会の終了後に、NEAR事務局と富山県、兵庫県、島根県の関係者との意見交換会が開催された。

意見交換会では、実務者ワークショップ、総会の開催を前に、海外派遣公務員の勤務や会費制導入・憲章改定、NEAR事務局で新しく計画している青年リーダースフォーラムなどについて議論が行われたほか、NEAR発展に向けて相互に努力していくことを確認した。

慶尚北道庁新庁舎の開庁式に出席

全哉垣NEAR事務総長は3月10日、慶尚北道庁新庁舎の開庁式に出席した。安東（アンドン）に位置する慶尚北道庁前広場で開かれた開庁式には、朴槿恵大統領をはじめとする国内外約1万人の招待客が出席した。

この日、開庁式に先立ち、全事務総長は安東グランドホテルで開かれた「駐韓外交団歓迎昼食会」に出席した。全事務総長は、慶尚北道経済副知事、国際関係大使、セマウル世界化財団代表理事らと共に、EUなど21か国の駐韓大使を含む外交団約40人と懇談した。



中国・四川省、湖北省を訪問(3月22日~25日)

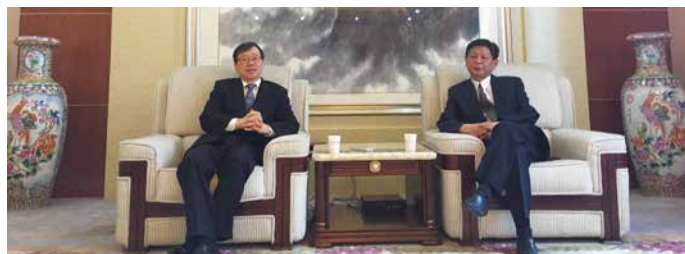
全哉垣NEAR事務総長らは3月23日（水）、鄭載男駐武漢韓国総領事と面談し、同総領事館の管轄地域のうち江西省のみがNEARに未加入であることから、発展潜在性のある江西省の会員加入に係る協力を要請した。

鄭総領事は「管轄地域がNEARを通じて会員自治体とより活発に交流にできるよう、積極的に協力する」と約束した。

その後、全事務総長らは湖北省外事弁公室を訪問し、NEARの年間行事（実務者ワークショップ、青年リーダースフォーラム、総会、国際フォーラムなど）について説明し積極的な参加を要請するとともに、会費制について説明を行った。湖北省の馮細国副主任は「湖北省武漢市は、北京、上海に続き中国で3番目に高い教育水準を誇る教育都市であり、NEARというプラットフォームを通じて海外会員自治体の高校や大学と交流したい。NEARが会員自治体との架け橋の役割を果たすことを期待する。」と述べた。

3月24日には四川省外事弁公室の張濤副主任を訪問し、NEARを紹介するとともに、「日本、中国、韓国、モンゴル、ロシアにおける地域間の交流協力を通じて相互発展していく機会になる」と述べ、加入を要請した。張副主任からは「まずオブザーバーとしてNEAR各種行事に出席し、正式会員としての加入を積極的に検討する。9月のNEAR総会でお会いできる事を望む」との肯定的な返答をいただいた。





アジア・太平洋地域開発財源高官級会議に出席

全哉垣NEAR事務総長は3月30日、韓国外交部と国連アジア・太平洋経済社会委員会の共同主催による「第1回アジア・太平洋地域開発財源高官級会議」に出席した。

国連アジア・太平洋経済社会委員会（UNESCAP）は、アジア・太平洋地域を包括する政府間の機構として域内の経済・社会分野における開発及び協力の中心的な役割を担っており、NEAR対象地域である6か国全てが同委員会の会員国となっている。

NEAR会員自治体である仁川広域市・松島シェラトンホテルで行われた今回の会議は、アジア・太平洋地域内における「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の達成のために必要な開発財源の調整方案について議論する事を目的に設けられ、域内の財務長官や中央銀行総裁など約20か国の高官を含む国際機構の専門家約100名が出席した。

全哉垣事務総長は、出席者との対話を通じて、持続可能な開発目標の達成における北東アジア地域内の地方政府間協力及び役割について意見を交わした。また、国際開発銀行などの他機関にNEARを紹介した。



2016年度 NEAR事務局新規海外派遣駐在官の紹介

NEAR事務局では、会員自治体が所属する6か国のうち韓国と北朝鮮を除く日本、中国、モンゴル、ロシアの4か国から各1名、計4人の公務員が派遣駐在官として勤務している（任期：1～2年間）。2016年度の新規派遣駐在官は次のとおり。



NEAR事務局
中国派遣駐在官
關察

吉林省
+82-54-223-2326



NEAR事務局
日本派遣駐在官
原田典久

富山県
+82-54-223-2386



NEAR事務局
モンゴル派遣駐在官
チェウエンドルツバイガルマ

ヘンティ県
+82-54-223-2327



NEAR事務局
ロシア派遣駐在官
イルギット・パレリ

トゥヴァ共和国
+82-54-223-2325

中国・寧夏回族自治区政協副主席一行が NEAR事務局を訪問

中国・寧夏回族自治区政治協商会議（政協）の李淑芬（Li Shufen）副主席一行が4月22日（金）、NEAR事務局を訪問した。

寧夏回族自治区は、2000年の第3回総会でNEARに加入して以来活発な活動が続けており、第9代議長団体として2012年総会を成功裏に開催した。

全哉垣NEAR事務総長は「寧夏自治区がNEAR加入以来積極的に参加し支持してくれたことに感謝している。」と歓迎した。

李副主席は、「NEARという枠組みは北東アジア内の国際交流への大きな助けになっている。今年の総会・国際フォーラム等にも積極的に参加できるように努力する」と答え、また、「NEARを介して特産品であるクコの実やワインなどをPRし、販路を開拓していきたい。」と意欲を示した。



中国・上海及び安徽省を訪問（4月24日～27日）

慶尚北道と大邱広域市は4月24日、上海最大の繁華街南京路に位置する世紀広場で「2016大邱・慶北訪問の年－韓中文化観光祭り」を開催した。同行事は、2016年大邱・慶北訪問の年を迎え、中国の現地市民、旅行業界及び著名メディアが共同でイベントを開催し、大邱・慶北地域への中国人観光客の誘致拡大に寄与するために実施された。

また、全哉垣事務総長は、慶尚北道知事一行と共に慶尚北道上海通商投資事務所の開所式に出席するとともに、慶尚北道、大邱漢医大学、新生活集团有限公司（中国）間の「Kビューティー化粧品産業育成のための覚書」締結式にも参加した。

その後、4月26日、中国・安徽省を訪問し、安徽省のNEAR加入について、王信・外事弁公室主任らと協議した。全事務総長はNEARの概要を紹介するとともに今後のNEAR事業計画を説明し、安徽省のNEAR加入を通じた北東アジア地域自治体間の活発な交流を要請した。

王主任からは、「NEARは北東アジア近隣国家の自治体と交流できる立派なプラットフォームであると考えている。NEARへの加入と、総会をはじめとするNEAR行事への積極的な参加について努力する。」と前向きな回答があった。



会員自治体の動静

中国－河南省

2016中国（鄭州）国際観光都市市長フォーラムが開催

5月24日から26日まで、河南省鄭州市で「2016中国（鄭州）国際観光都市市長フォーラム」が中国国家旅游局、国連世界観光機構及び河南省人民政府の共同主催、世界観光業理事会及びアジア・太平洋観光協会の協賛により開催される。同フォーラムでは、「観光、都市をつなぐ連帯」のテーマの下、国際観光都市ショーなどの多様な行事が行われる予定であり、世界観光都市市長や権威ある国際機構の知恵を集め、観光を通じた都市間相互コミュニケーションの方案を模索する。

同フォーラムはこれまで2008から隔年で計4回開催されており、国際観光業界において非常に将来性のあるグローバル観光イベントである。また、国際観光業界及び国際観光都市間における高水準のコミュニケーションのプラットフォームであり、世界の観光業発展のための重要な促進剤としての役割を果たしていることから、国際観光業界及び世界観光都市から高く評価され、幅広い分野で認められている。

一方、世界観光業界で重要な部分を占める中国観光業は、中国政府の指導力の下で飛躍的な発展を遂げ、国民経済の戦略的基幹産業となった。中国は既に世界3位の国際観光対象国家であり、世界最大の観光輸出国として世界最大の国内観光市場を持っており、観光業が徐々に産業化、社会化、グローバル化、現代化されている。

河南省は同フォーラム主催者の一つであり、中国中部地域の重要な観光スポット、観光輸出地であると同時に、中国の重要な経済、文化、観光大省である。また、「一帯一路」発展計画上の重要な拠点都市として、中国国内の連結と国際的コミュニケーションのための重要な架け橋としての役割を担っている。

日本－福井県

福井県と中国・浙江省との交流推進

福井県と浙江省は、1993年10月に友好提携を締結し、22年を経過しています。一昨年2月に知事が訪浙した際に、李強省長との懇談の中で、青少年交流、経済、文化、観光など様々な分野で交流をさらに強化することで合意しました。

この合意に基づき、昨年から小中学生の書画交換を新たに始めるとともに、本県の中学生を浙江省へ派遣し、卓球やバドミントン、陶芸、書道などのスポーツ・文化交流を通じて青少年同士の交流を深めました。

また、昨年12月には、浙江省内の6つの高校から約100名の高校生にお越しいただき、県内高校での授業参加やホームビジットなどを通じて相互理解を図りました。

さらに、昨年9月には、浙江省政府代表团および観光促進訪問団が来

県し、浙江省旅游協会と福井県観光連盟が観光に関する協力協定を締結するなど、観光交流においても、さらに促進していくことを確認しました。

こうした一つ一つの交流を積み重ね、青少年、文化、経済、教育、観光など、様々な分野の交流を発展させていきたいと考えています。



1. 浙江省高校生100名来県



2. 交流会



3. 浙江省での書道交流の写真

日本－京都府

「京都スマートシティエキスポ2016」6月開催

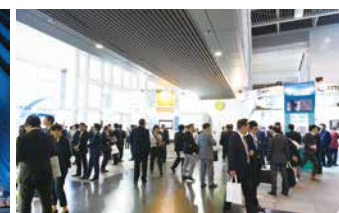
京都府では、スペイン・バレンシアが世界展開する「スマートシティエキスポ世界会議」との連携・協働のもと、「京都スマートシティエキスポ2016」を6月1日（水）から3日（金）の3日間、京都市とけいはんな学研都市で開催する。

初日の国際シンポジウムでは、「TED (Technology Entertainment Design)」で講演経験のあるリープクラフト社（デンマーク）のベンカトラマン氏に基調講演をいただくなど、IoTや人工知能（AI）などの世界最先端の専門家・研究者等による講演・パネルセッションが行われる。

2日目・3日目のスマートシティメッセinけいはんなでは、ICTを基盤としたスマートシティに関する様々な分野の企業・団体等が国内外から集結し、ワールドワイドなビジネスマッチングの機会を提供する。

生活・文化の質の向上、社会的安寧、経済・社会の持続的成長などの喫緊の課題に、スマートシティがどのようなソリューションを提案し、新たなビジネスを創出することが出来るのかを展望する。

※詳細・事前申込は公式ホームページから → <http://expo.smartcity.kyoto/>



韓国－慶尚北道

虎尾岬（ホミゴッ）海岸ドゥルレ道の一部を開通

韓国本土最東端に位置することで有名な「虎尾岬（ホミゴッ）」海岸の絶景を一層豊かに感じられる「トゥルレ道」が一部開通した。

浦項（ポハン）市は、「虎尾岬の地形的な象徴性と海洋観光資源を連係して造成した虎尾半島海岸トゥルレ道の一部（立岩里（イプアムリ）ソンバウ～下仙台（ハソンデ）区間）を先に開通した」と発表した。

このドゥルレ道は、韓国の地図を虎に例えると尻尾に当たる部分であり、迎日（ヨンイル）湾を中心に、東側に沿って東海（トンヘ）面、九竜浦（クリョンポ）邑、虎尾岬面、長岐（チャンギ）面の海岸線58kmを結ぶトレッキングロードである。

今回一部開通した区間は、絶壁と波のために近づくことが困難であった「東海面 立岩里ソンバウ」から「下仙台（馬山里（マサンニ））」までの700mの区間である。この区間は人の往来がほとんど無い所で、様々な奇岩怪石や海軍の群落地、夕陽とPOSCO（浦項製鉄所）の夜景が一目で見られるスポットである。

片章燮（ピョン・ジャンソプ）浦項市国際協力観光課長は、「これまでは恵まれた海岸の絶景を感じることができる徒歩道がなかった。KTXと蔚山（ウルサン）－浦項高速道路の開通とともにロードツーリズムとして商品化されれば、より多くの観光客が訪れることが期待される」と述べた。



韓国－慶尚北道

第13回浦項国際花火大会が開催

浦項は「火と光の都市」と呼ばれる。約2千年前の新羅時代、太陽と月の精霊である延鳥郎（ヨノラン）と細鳥女（セオニョ）の昔話に出てくる「太初の光」は、浦項の光の始まりと伝えられている。浦項の夏を代表する浦項国際花火大会が今年で13回目を迎え、7月28日から7月31日まで迎日台（ヨンイルデ）海水浴場一帯で開催される。

今回の花火大会では迎日湾の美しい夜景を舞台に約10万発の花火が美しく華麗に繰り広げられ、浦項の「火と光」を感じることができる。



韓国－京畿道

韓国海洋レジャー産業のプラットフォーム「2016京畿（キョンギ）国際ボートショー」が開催

2015年、京畿道高陽（コヤン）市のKINTEXで、アジア三大ボートショーの一つである「第8回京畿道国際ボートショー」が成功裏に開催され、海外の業界専門家や観客から賛辞が送られた。

今年は5月19日から4日間開催され、新たに「釣り」の分野も新設される。（詳細は以下のとおり）

時 間	10:00～17:00（最終入場時刻：16:00）
場 所	KINTEX第1展示場 3、4、5ホール（室内）金浦アラマリーナ
主 催	京畿道、海洋水産部
主 管	KINTEX、KOTRA
内 容	ボート、ボートシステム、海洋装備とアクセサリ、個人装具及びウォータースポーツ用品、サービス等



[韓国コラム]

外国人を対象に美容・整形サービスの消費税を還付

韓国保健福祉部は、2016年4月1日から、美容・整形の医療サービスを利用した外国人に対して付加価値税（消費税に相当）を還付すると発表し、外国人利用客の誘致促進のために多くの医療機関が同制度に参加するよう呼びかけている。これまで外科や内科等における治療目的の一般的な医療サービスでは付加価値税が免除されていたが、美容・整形サービスは免除の対象外であった。

同制度は2017年3月31日まで一時的に施行され、制度の効果性等により継続の有無が検討される。なお、付加価値税の還付を受けられる医療機関リストは、メディカルコリアのホームページ（www.medicalkorea.or.kr）で公開されている。

May
2016. 5

Sunday	Monday	Tuesday
1	2	3
8	9	10
・自治体: 韓国 仁川広域市 ・行 事: 仁川ワールド・インラインスケート大会 ・期 間: 5/15 ・場 所: 仁川広域市, 松島 ・連絡先: 文化観光体育局 体育振興課 (T) +82-32-440-4074		17
22	23	・自治体: 中国 河南省 ・行 事: 2016中国(鄭州)観光都市市長フォーラム ・期 間: 5/24~5/26 ・場 所: 河南省 鄭州市 ・連絡先: 河南省 旅游局 (T) +86-371-65506790 河南省政府 外事弁公室 (T) +86-371-69068089 (F) +86-371-69068089
29	30	31

June
2016. 6

5	6	7
12	・自治体: 韓国 仁川広域市 ・行 事: 2016 第14回世界エアロビクス体操選手権大会 ・期 間: 6/13~6/19 ・場 所: 仁川広域市 南洞体育館 ・連絡先: 文化観光体育局 体育振興課 (T) +82-32-440-4074	14
19	20	21
26	27	28

Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
 2016 세계 친환경 디자인 박람회 2016. 5. 5~29	•自治体: 韓国 全羅南道 5 •行 事: 2016世界エコデザイン博覧会 •期 間: 5/5~5/29 •場 所: 全羅南道 農業技術院 •連絡先: 全羅南道 国際通商課 (T) +82-61-286-2421	 2016. 5. 7~5. 8 2016 대안문화축제	•自治体: 韓国 大邱広域市 7 •行 事: 2016カラフル大邱フェスティバル •期 間: 5/7~5/8 •場 所: 大邱広域市内 •連絡先: 大邱文化財団 (T) +82-53-422-0996 www.cdf.or.kr/kor/
11	12	13	14
•自治体: ロシア 沿海地方 18 •行 事: 第2回太平洋観光フォーラム及び第20回太平洋国際観光展示会 •期 間: 5/18~5/22 •場 所: ウラジオストク市 ルースキー島 •連絡先: 沿海地方観光局 (T) +7 423 240 08 16 (T) +7 432 240 23 21 tour@primorsky.ru	•自治体: 韓国 京畿道 19 •行 事: グッド・ゲームショー・コリア •期 間: 5/19~5/22 •場 所: KINTEX(京畿道高陽市) •連絡先: 京畿道 外交政策課 (T) +82-31-8008-2198	•自治体: 韓国 京畿道 20 •行 事: 韓国(京畿道)国際ポートショー •期 間: 5/19~5/22 •場 所: KINTEX (京畿道高陽市) •連絡先: 京畿道 外交政策課 (T) +82-31-8008-2198	21
25	26	27	28
•自治体: 日本 京都府 1 •行 事: 京都スマートシティエキスポ2016 •期 間: 6/1~6/3 •場 所: 京都府 京都市 •連絡先: 京都府 文化学術研究都市推進課 (T) +81-75-414-5194	2	3	•自治体: モンゴル ウランバートル市 4 •行 事: ウランバートル国際観光エキスポ •期 間: 6/4~6/5 •場 所: ウランバートル市 •連絡先: ウランバートル市 観光局 (T) +976- 70128687
8	9	10	11
•自治体: 中国 黒竜江省 15 •行 事: 第27回中国ハルビン国際貿易博覧会 •期 間: 6/15~6/19 •場 所: 黒竜江省 ハルビン市 •連絡先: 黒竜江省 外事弁公室 (T) +86-451-53638943 (F) +86-451-53607553	16	17	18
22	•自治体: ロシア クラスノヤルスク地方 23 •行 事: 第5回アジア・太平洋国際音楽フェスティバル •期 間: 6/23~6/29 •場 所: クラスノヤルスク市 •連絡先: クラスノヤルスク地方 文化部 (T) +7 (391) 249-34-84 (E) Natarov@econ-krskru inter@econ-krskru	•自治体: ロシア ハカス共和国 24 •行 事: 国際文化観光フォーラム 「社会文化発展資源-歴史文化遺産 Siber-II」 •期 間: 6/30~7/3 •場 所: ハカス共和国 •連絡先: ハカス共和国文化部 (T) +7 (3902) 295-134	25
29		30	

2016NEAR実務者 ワークショップが開催



事務総長による
歓迎の辞

4月27日から29日までの3日間、浦項ベストウェスタンホテルで「2016 NEAR実務者ワークショップ」が開催され、NEAR会員国（日本、中国、韓国、モンゴル、ロシア）の36団体広域自治体から実務者約80名が出席した。同ワークショップは、NEAR会員自治体の実務者が一堂に会し、NEAR活動についての意見交換や会員自治体間の人的ネットワーク形成を行う場として2006年から開催しており、今年で11回目を迎えた。参加者数は延べ800人に上る。今回のワークショップでは、NEAR事務局の業務報告をはじめ、会員自治体の主要行事が紹介された。また、NEARの懸案事項である「会費制導入」「憲章改定」についての討議セッションが設けられ、参加者の意見収集と討議が行われた。



2016NEAR実務者ワークショップ参加者集合写真



駐釜山ロシア総領事による祝辞

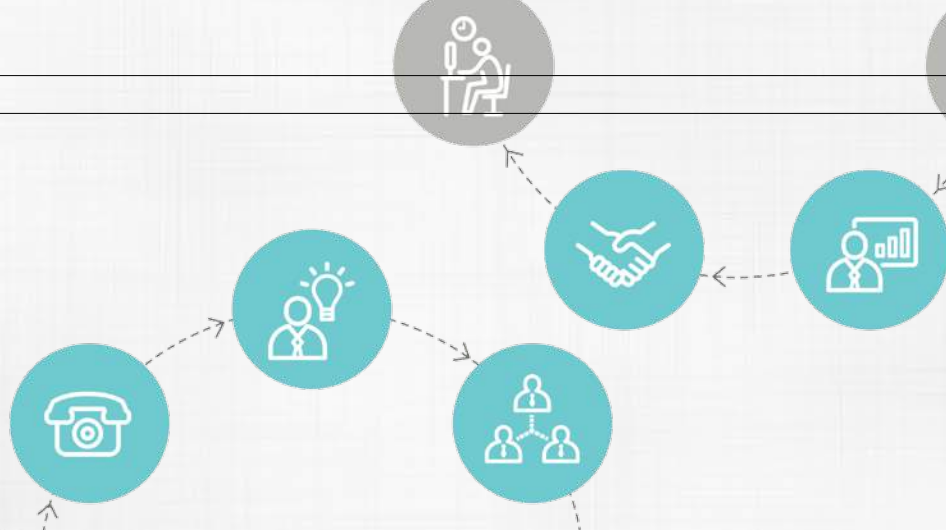


●事務局の業務報告

NEAR事務局は、2015年度の事業成果及び2016年度の主要業務計画について報告した。事務局は2016年度重点推進業務として「第11回NEAR総会」「NEAR国際フォーラム」「2016北東アジア青年リーダーズフォーラム」「第4回青少年エッセイ・絵画等コンテスト」等の開催について報告し、会員自治体の積極的な協力を要請した。

続いて、分科委員会活性化のための調整の経過を報告した。事務局は、活動が低調な分科委員会のコーディネート自治体を対象に意見を照会した結果、各分科委員会を「開催継続」又は「他自治体への移譲」に整理し、総会開催前までの調整完了に向けて業務を推進すると述べた。





会員自治体の発表
- 日本・島根県



● 会員自治体の発表

日本・富山県は、同県がコーディネートする環境分科委員会の活動報告において、北東アジア地域環境体験プログラムや北東アジア地域環境ポスター展示会の実施状況、今後の活動計画等を発表した。また、兵庫県、島根県からも、それぞれがコーディネートする防災分科委員会、教育・文化交流分科委員会の開催結果や次期開催計画が報告された。韓国・大田広域市は同市の概要及び推進事業を紹介した。全羅南道は、2016年5月5日から29日まで開催される「世界エコデザイン博覧会」のPRを行った。

NEAR議長団体であるロシア・イルクーツク州は、同州を紹介するとともに、2016年9月に同州で開催される総会への出席を要請した。

会員自治体の発表
- ロシア・イルクーツク州



会員自治体の発表 - 韓国・全羅南道



● 「会費制導入」「憲章改定」について討議

2014年に開催された第10回実務委員会の提案事項である「会費制導入」「憲章改定」について、事務局及び各会員自治体による討議が行われた。

< 会費制導入について >

会費制の導入そのものには賛成する会員自治体が多い一方、日本の自治体からは、「会費の使途について明確な規定が必要である」との意見が述べられた。また、中国、モンゴル、ロシアの自治体は、会費の差等制の是非について改めて言及した。

< 憲章改定について >

出席した多くの会員自治体が、「準会員とオブザーバーの区別が曖昧で、会費支出の可否もはっきりしておらず、現時点で準会員団体へと拡大するのは時期尚早である」との立場を示した。事務局では、今回の討議における会員自治体の意見を積極的に反映し、見直しや検討を行った上で改めて会員自治体に報告することとした。



討議の様子1



討議の様子2



歓迎晩餐会

● 現地探訪

ワークショップ終了後は、世界の鉄鋼産業を牽引してきた浦項製鉄所（POSCO）を視察し、その後浦項テクノパーク所在のNEAR事務局を訪問した。最終日にはユネスコ世界遺産である「慶州良洞マウル」も視察し、多様なプログラムを通して韓国の歴史村と伝統文化を体験した。



NEAR事務局を訪問



慶州良洞マウルを視察、韓国伝統文化を体験



北東アジア国家の結婚文化(1)

－中国、日本、韓国－

全世界を通じて最も壮大で幸せな行事の一つが結婚式である。結婚式は、家族、親戚、友人が新郎と新婦の新しい人生を祝福するため集うという点ではいつの時代も変わらないと言える。一方で、その形式は変化してきており、国ごとにそれぞれ特色のある文化を持っている。今回は、NEAR会員国である中国、日本、韓国の結婚文化について紹介する。

中国



中国の結婚文化と風習

中国の人々が一生の間に最も重要視することは、「出生」「死亡」そして「結婚」である。それだけ結婚は重要なものであり、中国文化において大きな意味を持っている。

1. 「赤」は永遠のメインカラー

中国の伝統的な婚礼においては、新郎新婦のドレスから靴、婚礼用品、装飾に至るまで、そのほとんどに赤が用いられる。西洋文化が流入して以来、中国の結婚文化にもそれが融合し、少しずつ変化してきているものの、赤が中国のメインカラーであることに変わりはない。これは、中国では昔から赤が幸運や富を象徴する色であると認識されているためである。そのため、白よりも赤いウェディングドレスを好む若いカップルも多い。





2.大規模なウェディングカーの行列

中国では、結婚式の当日に新郎が新婦の家に行き、新婦と参列者を連れて式場に向かうという風習がある。その際、式の盛大さを示すため、友人の車を借りたり、自分でレンタルするなどして大規模なカーパレードが演出される。これは人生で最も重要な儀式の一つであり、社会的地位や経済力によりブランド・台数は異なるものの、中には高価な外車も見られる。

3.式はホテルで挙げる

中国では、結婚式・披露宴はホテルで行うのが一般的であり、人気のある式場は1年前から予約しなければならない。参列客は、ご祝儀を赤い封筒（红包）に入れて準備する。参列者のテーブルには、お酒などの飲み物、たばこ、何種類かのおかずと、赤い封筒・箱に入れられたキャンディ（喜糖）が用意される。このキャンディは引き出物の一つとして参列者に配られることもあり、いつ結婚するのかと尋ねる際に「いつキャンディ（喜糖）を食べさせてくれるの？」と聞くこともある。



日本



日本の結婚文化と風習

1.ご祝儀

日本では、ご祝儀を奇数枚の紙幣で包むことが多い。金額は新郎・新婦との関係によって異なるが、通常の見安はおおむね以下のとおりである。

家族、親戚	友人、職場同僚
20代：3～5万円 30代～40代：5～10万円 50代：7～10万円	基本：3万円 結婚式を欠席した場合：1～2万円

ご祝儀の金額が他国に比べて高い理由は、参列者に振る舞う食事や引き出物にかかる費用、遠方からの参列者に交通費や宿泊費として包む「御車代」が高額なためである。



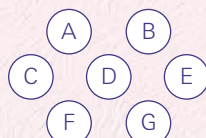


2. 招待状と席次

結婚式の招待状が届いたら、出欠の返事を出す。また、結婚式当日は招待状を持参する。

結婚式当日、式場の受付でご祝儀を渡し、席次表をもらう。座席の配置は、職場の上司、同僚、恩師がメインテーブルの近く（上座）に座り、友人は会場の中ほど、家族と親戚は入り口に近いテーブル（下座）に座る。最近では、席札の裏に新郎新婦からのメッセージが書いてあることがあり、式が終わると持って帰ることも多い。

MAIN



・A~B: 職場の上司・同僚、恩師

・C~E: 友人

・F~G: 家族・親戚

3. 結婚式・披露宴の服装（お呼ばれファッション）の例

	女 性
	－ 衣 装：ドレス（新婦より派手な服装は避ける） 長さは基本的にひざ丈で、黒系と白系は避ける ドレスの上にボレロを着る ストッキングは肌色（黒や柄入りは避ける） － バ ッ グ：クラッチバッグ、ハンドバッグ － シューズ：つま先とかかとが隠れる靴 － ヘアースタイル：髪が長い場合はアップスタイルにする
	男 性
	－ 衣 装：スーツ（黒無地） － シ ャ ツ：白 － ネクタイ：銀又は白系 － 靴 上：黒 － 靴 下：黒無地 － ベ ル ト：黒系でシンプルな装飾のもの

4. 結婚式当日の様子

・規模：平均100名程度

・所要時間：3時間程度

・特徴

日本の結婚式は、教会やホテルの結婚式場、寺や神社で、家族、親戚、職場の上司・同僚、友人を招待して行われる。日本では、他国と比べて披露宴が長く、進め方はおおむね以下のとおりである。

第1部	<新郎新婦> お色直し (一時退場)	第2部
・新郎新婦の入場 ・司会者による披露宴開会の挨拶 ・新郎新婦からのウエルカムスピーチ ・新郎側来賓のスピーチ ・新婦側来賓のスピーチ ・ウェディングケーキ入刀 ・皆で乾杯 ・食事、懇談	<参列者> 友人による余興など	・キャンドルリレー ・新郎新婦友人のスピーチ ・新郎新婦親族代表（通常は新郎の父）からのお礼の挨拶 ・新郎新婦からの最後の挨拶 ・閉会





韓国の結婚文化と風習

1. 過去の伝統的な結婚（婚礼）

韓国の伝統的な結婚式は非常に複雑であったが、時間が経つにつれて簡素化され、現在では簡単に行う傾向に変わってきている。

過去に親が子の結婚を決めていた頃の伝統婚礼形式では、礼緞（イエダン、絹織物）や礼物（イェムル、宝飾品など）といった結納品を入れた箱を、新郎の家族が結婚前日に花嫁に贈る慣わしであった。このとき新郎は同行せず、新郎の友人が顔を隠して新婦の家に訪問した。この風習は現在も続いているものの、結婚式費用の節約のため、最近では礼緞を省いて礼物だけを贈ることが多くなっている。

2. 最近の結婚文化

- ・**招待状**：新郎新婦はできるだけ多くの知人に招待状を送り、また、婚主（式の主催者。通常は新郎新婦の父親）の知人も多く出席するため、結婚式当日の参列者は約200~300人程度となる。招待状への返事は必ず出す必要はなく、また、招待状を送られていない人であっても式に出席することができる。式場での配席は決まっておらず、参列者が自由に席を選ぶことが一般的である。
- ・**祝儀金**：新郎新婦との関係や親密度によって金額が決まり、一般的に奇数単位でご祝儀を包む。新郎新婦と特に親しい関係である場合は、ご祝儀の代わりに洗濯機等の実用的なプレゼントを贈ることもある。また、結婚式当日に出席できない場合は、事前に婚主と新郎新婦、式に出席する他の友人などを通じてご祝儀を渡すこともある。

家族、親戚	友人、職場の同僚
基本：10万ウォン（約1万円相当）以上	基本：5万ウォン（約5千円相当）以上 ※地域によって異なり、ソウルは10万ウォン以上。 新郎新婦との親しさによって10万、15万、20万ウォンと増えていることも。

・**参列者の服装**：正装またはカジュアルで、整った身なりの服装。新婦のドレスが白色であるため、女性はなるべく白色系を避ける。

3. 式場での挙式と伝統儀式「ペベク」

現在、韓国では専門結婚式場やホテルで結婚式を行うことが一般的である。また、他国と比べて式の時間が短い。

式は通常「新郎新婦の入場→司会者の祝詞→新郎新婦の両親に挨拶→祝歌」の順で進行し、その時間は20分程度である。最近では「小さな結婚式（スモール・ウェディング）」が流行しており、司会者の祝詞を省略して新郎新婦の親が一言ずつ話すなど、結婚文化は変化してきている。

式が終わると、家族、親戚、職場の同僚、友人の順で記念写真を撮影する。その後、参列者は新郎新婦が用意した披露宴会場に移動し、食事を行う。

その間、新郎新婦は韓国の伝統衣装に着替え、新郎新婦の家族と近親者のみが参加する「ペベク（幣帛）」と呼ばれる伝統的な結婚の儀式を行う。ペベクは旧来、新郎の実家で執り行われるものであったが、現在は式場に設けられた専用の部屋で行うことが多い。ペベクの儀式は通常、以下のとおり進行する。

- ① 新郎の両親（最近は新婦の両親も同席する場合が多い）と新郎新婦が、棗（なつめ）、酒、おつまみ、果物などを乗せた机を挟んで向かい合わせに座り、お辞儀をする。

- ② お酒をついで、両親から祝いの言葉をもらう。
- ③ 新郎新婦が白い布を広げ、そこに栗と棗を投げてもらう。これには「子供がたくさん授かるように」という願いが込められている。
- ④ 新郎新婦の親戚からご祝儀を受け取る。このご祝儀は新婚旅行の費用に充てられることが多い。
- ⑤ 新郎と新婦がお酒を注ぎあって、夫婦の杯を交わす。杯を交わすときは、腕を絡めて互いに飲む。
- ⑥ 一つの棗を二人でかじり合う。このとき、棗の種を口にした方が結婚生活の主導権を持つと言われる。
- ⑦ 最後に、新郎が新婦をおんぶして部屋を一周する。大きく回れば回るほど大きな家に住める（豊かになる）という意味がある。



The Association of Northeast Asia Regional Governments



北東アジア地域自治体連合

The Association of Northeast Asia Regional Governments

(37668)慶尚北道浦項市南区芝谷路394 浦項 テクノパーク本部棟3階

T. +82-54-223-2317 F. +82-54-223-2309 E-mail near@neargov.org Homepage www.neargov.org